

主の祈り

天にまします 我らの父よ、
願わくは御名をあげさせたまえ。
御国を来たせたまえ。
御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ。
我らに負目ある者を 我らが赦すごとく、我らの負目をも赦したまえ。
我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と榮えとは 限りなく汝のものなればなり。

アーメン

(マタイ 6:9~13 明治元訳聖書より)

※イエス様が求められた許しは、神様の犠牲愛の赦しなので「赦し」と記しています。

▶新共同訳聖書 マタイによる福音書 6:9~13 ㊦()内は聖書協会共同訳表記

だから、こう祈りなさい。『天におられるわたしたちの父よ、／御名が崇められ (聖とされ) ますように。御国が来ますように。御心が行われますように、／天におけるように地の上にも。わたしたちに必要な (日ごとの) 糧を今日与えてください。わたしたちの負目を赦してください (お赦しください)、／わたしたちも自分に負目のある人を／赦しましたように。わたしたちを誘惑 (試み) に遭わせず、／悪い者 (悪) から救ってください。』

▶馬太傳福音書(明治元訳) 第六章 (明治 37 年)

され なんぢら いの てん まし われら ちち ねがは みな あがめ たま
9 然ば爾曹かく祈るべし天に在ます我儕の父よ願くは爾名を尊崇させ給へ
みくに きた たま みこころ てん なる ち なさ たま
10 爾國を臨らせ給へ爾旨の天に成ごとく地にも成せ給へ
われら にちよう かつ けふ あたへ
11 我儕の日用の糧を今日も與たまへ
われら おひめ もの われら ごと われら おひめ ゆる たま
12 我儕に負債ある者を我儕がゆるす如く我儕の負債をも免し給へ(※2)
われら ころみ あは あく すくいだ たま くに ちから さかえ かぎ なんぢ もの
13 我儕を試探に遇せず悪より拯出し給へ國と權と榮は窮りなく爾の有なればなりアメン

われら つみ をか もの わが ごと われら つみ ゆるし
※2 明治14(1881)年版ではこの節全体が「我儕に罪を犯す者を我ゆるす如く我儕の罪をも免たまへ」。

▶馬太傳福音書(明治元訳) 第六章 (大正 4 年)

され なんぢら いの てん まし われら ちち ねがは みな あがめ たま
9 然ば爾曹かく祈るべし天に在ます我儕の父よ願くは爾名を尊崇させ給へ
みくに きた たま みこころ てん なる ち なさ たま
10 爾國を臨らせ給へ爾旨の天に成ごとく地にも成せ給へ
われら にちよう かつ けふ あたへ
11 我儕の日用の糧を今日も與たまへ
われら おひめ ごと ゆるし
12 我儕に負債ある者を我儕がゆるす如く我儕の負債をも免たまえ
われら ころみ あは あく すくいだ くに ちから さかえ かぎり なんぢ もの
13 我儕を試探に遇せず悪より拯出し給へ國と權と榮は窮りなく爾の有なればなりアメン